吸収合併に係る事前開示書面

令和８年１１月１１日

（合併存続会社）　株式会社トクヤマ
代表取締役　井上　智弘

当社は、株式会社スーパーナノデザインとの間で令和８年１０月２３日に吸収合併契約を締結し、当社を合併存続会社、株式会社スーパーナノデザインを合併消滅会社とする吸収合併を行うことといたしました。つきましては、会社法第７９４条及び会社法施行規則第１９１条の規定に従い、下記の通り開示いたします。

記

１．吸収合併契約の内容に関する事項
別紙１のとおりです。

２．合併対価の相当性に関する事項
完全親子会社間の合併につき、合併対価の交付はありません。

３．消滅合併の新株予約権の対価の定めの相当性に関する事項
消滅会社は新株予約権を発行しておりません。

４．消滅会社の計算書類等に関する事項
消滅会社である株式会社スーパーナノデザインの最終事業年度の計算書類等は別紙２のとおりです。なお、当社及び合併消滅会社ともに重要な後発事象は生じておりません。

５．合併後の債務の履行の見込みに関する事項
合併当事者各社の財務状況からして、債務の履行に支障はないと見込んでおります。

６．事前開示開始日以降に上記事項に変更が生じた時は、変更後の当該事項変更がありましたら、ただちに開示いたします。

以　上



合併契約書

株式会社トクヤマ（以下、「甲」という）及び株式会社スーパーナノデザイン（以下、「乙」という）とは次のとおり合併契約（以下、「本契約」という）を締結する。

第１条（合併の方法）

１．甲及び乙は、甲を吸収合併存続会社、乙を吸収合併消滅会社として合併（以下、「本合併」という）し、甲が乙の権利義務の全部を承継する。

２．本合併に係る吸収合併存続会社及び吸収合併消滅会社の商号及び住所は、以下のとおりである。

（１）吸収合併存続会社

商号：株式会社トクヤマ

住所：山口県周南市御影町１番１号

（２）吸収合併消滅会社

商号：株式会社スーパーナノデザイン

住所：宮城県仙台市青葉区荒巻字青葉６－６－４０

第２条（株主に対する株式等の交付）

甲は乙の全株式を所有しており、本合併に際しては一切の対価を交付しない。

第３条（増加すべき存続会社の資本金等）

甲は、本合併では、資本金及び資本準備金の額を変更しない。

第４条（効力発生日）

効力発生日は、令和９年２月１日とする。但し、当該日の前日までに合併に必要な手続を遂行できないときは、甲及び乙が協議のうえ、会社法の規定に従い、これを変更することができる。

第５条（合併承認決議）

甲及び乙は、効力発生日の前日までに、それぞれ本契約の承認及び合併に必要な事項に関する機関決定を行うことを要する。なお、甲に関しては会社法７９６条に定める簡易合併の規定により、本合併契約について株主総会の承認を得ず、取締役会の承認を得て合併する。

第６条（権利義務全部の承継）

甲は、効力発生日において、乙の従業員全員、資産及び負債その他一切の権利義務を承継する。

第７条（会社財産の善管注意義務）

甲及び乙は、本契約締結後、効力発生日前日に至るまで、善良なる管理者の注意をもって各業務を遂行し、かつ、一切の財産の管理を行う。

第８条（合併条件の変更、合併契約の解除）

本契約締結の日から効力発生日までの間において、天災地変その他の理由により、甲もしくは乙の資産状態または経営状態に重大な変更を生じた場合、又は隠れたる重大な瑕疵が発見された場合には、甲及び乙が協議のうえ、本契約を変更し又は解除することができる。

第９条（合併契約の効力）

本契約は、甲及び乙の適法な機関決定による承認が得られないときは効力を失うものとする。

第１０条（協議事項）

本契約に規定のない事項についてまたは本契約書の解釈に疑義が生じた場合については、甲及び乙が誠意を以て協議のうえ解決する。

以上を証するため、本書１通を作成し、各当事会社が署名または記名押印のうえ、甲が原本を保管し、乙は写しを保管する。

令和８年１０月２３日

（甲）　山口県周南市御影町１番１号
株式会社トクヤマ
代表取締役　井上 智弘

（乙）　宮城県仙台市青葉区荒巻字青葉６－６－４０
株式会社スーパーナノデザイン
代表取締役　百田 潤二

別紙２

株式会社スーパーナノデザイン

貸借対照表の要旨

（令和8年3月31日現在）　　（単位：千円）

科　　目	金　額	科　　目	金　額
流動資産	171,364	流動負債	5,623
固定資産	1,686		
		株主資本	167,427
		資本金	80,000
		資本剰余金	355,812
		資本準備金	355,812
		利益剰余金	△268,385
		その他利益剰余金	△268,385
		（うち当期純損失）	(120,190)
資産合計	173,051	負債・純資産合計	173,051

（注）記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

損益計算書の要旨

（自 令和7年4月1日 至 令和8年3月31日）　　（単位：千円）

科　　目	金　　額
売　上　高	4,950
営業損失	△103,849
経常損失	△99,571
税引前当期純損失	△119,887
当期純損失	△120,190

（注）記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。